

***** 朝日町へ寄付していただいた方へ感謝をこめて *****

\ vol.09 /

朝日町ふるさと通信

ASAHI TOWN FURUSATO NEWSLETTER

春
Spring
2020



真剣な表情で、訓練してきた消防操法を披露する団員たち

災害から住民を守る朝日町消防団

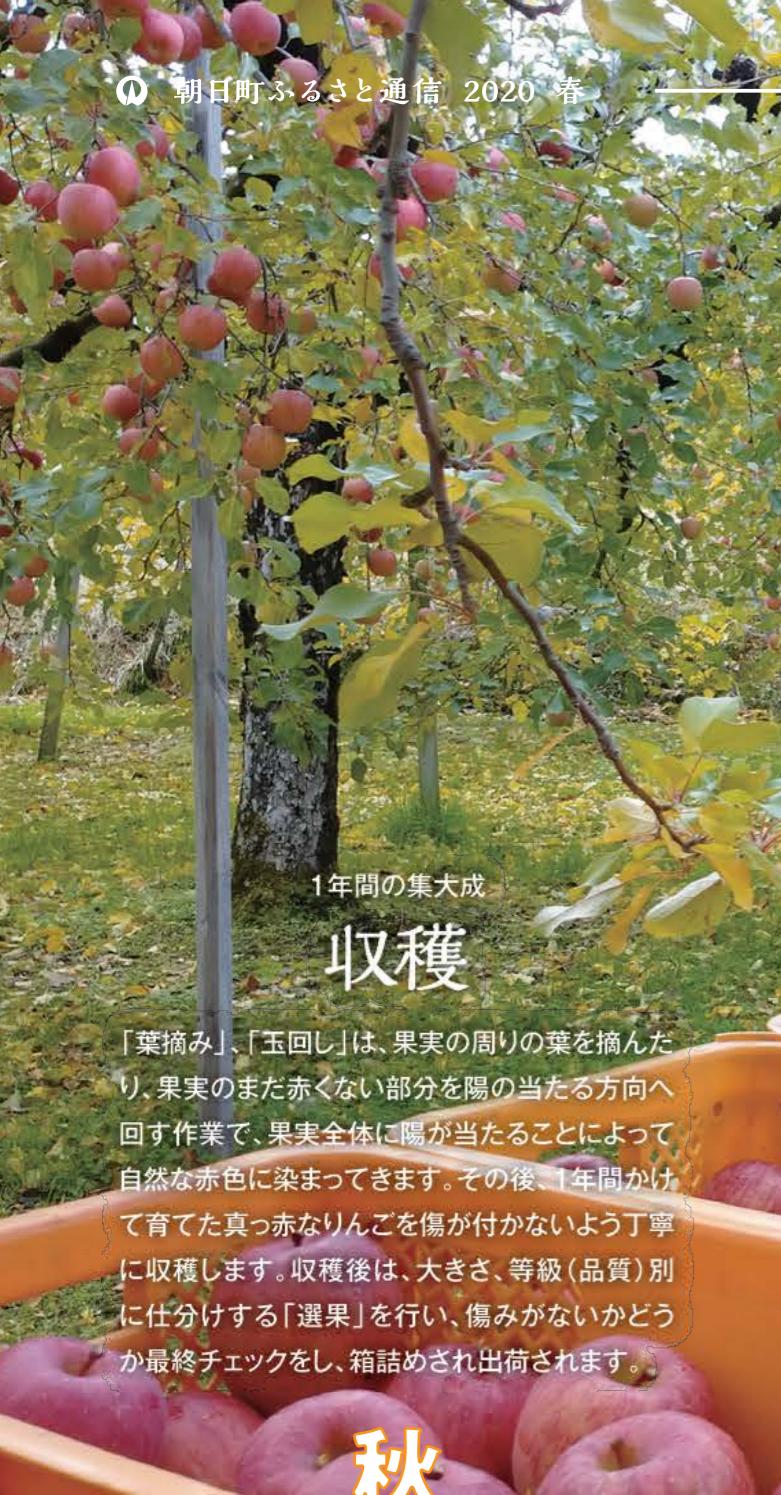
昨年度、寄付金を活用させていた
だき「消防団活動服の一斉更新」を行
いました。消防団活動服を新たに
国基準に合わせるため、従来どお
り紺色を基調とし、消防団の象徴力
ラーであるオレンジ色を活用しつつ、
夜間活動時等の視認性や注目度を高
めるため、オレンジ色の配色面積を
増やしました。

町消防団は火災や風水害などの災
害の際に、消火や復旧、避難の補助
などを行うとともに、常時は災害・
被害がないように予防・啓発に取り
組むなど、地域住民の生命と財産を
守る、住民にとって無くてはならない
い存在です。また、消防団員の多く
は自らの仕事や家庭などを持ちながら、
このような活動に取り組んでいます。

町の人口が減っていることもあり、
消防団員数も減少傾向にあります
が、今後も寄付金を活用しながら、
引き続き団員が活動しやすい環境を
整備していきます。

こんにちは。山形県朝日町役場ふ
るさと納税チームです。昨年度は朝
日町に対し、ふるさと納税のご寄付
を賜りありがとうございました。

この度、「朝日町ふるさと通信2
020年春号」ができました。今回
も町の様々な情報を届けします。



1年間の集大成 収穫

「葉摘み」、「玉回し」は、果実の周りの葉を摘んだり、果実のまた赤くない部分を陽の当たる方向へ回す作業で、果実全体に陽が当たることによって自然な赤色に染まってきます。その後、1年間かけて育てた真っ赤なりんごを傷が付かないよう丁寧に収穫します。収穫後は、大きさ、等級(品質)別に仕分けする「選果」を行い、傷みがないかどうか最終チェックをし、箱詰めされ出荷されます。

秋

葉摘み／玉回し／収穫

寄付金の使い道

需要拡大・販促の推進 りんごの需要拡大や販売を促進させるために、りんご品評会の開催や海外でプロモーションを行います。



美味しいりんごを収穫するための 摘果

美味しいりんごを収穫するために余分な果実を摘み取り、残ったりんごに養分を集中させ、形の良い果実を選抜する作業が「摘果」です。これには、多くの果実を育て過ぎた結果、樹木が疲れてしまい、翌年の収量が減少するということを防ぐ効果もあります。また、虫や病気の発生を防ぐために樹木周辺の草刈りや、人体に害のない安全な薬を使用した防除を行うなど、栽培管理に手間暇をかけます。

夏

摘果／草刈り／防除

寄付金の使い道

農機具等支援 認定農業者や定年帰農者(※)が草刈機などの農機具等を購入する場合に助成します。※定年退職後に農村に戻り、又は移住し、農業に従事する方。



昆虫によって行われる 受粉

5月上旬になると、少しピンクがかかった白いりんごの花が畠一面に咲きほこります。この時期行われる作業が、「受粉」と「摘花」です。受粉は、ミツバチなどの昆虫が蜜集めに花から花へ移動するため、体についた花粉が別の花へ付着し受粉されます。摘花は、中心花と呼ばれる一番早く咲く真ん中の花を残して、外側の花を摘み取ります。秋に大きなりんごを収穫するための作業です。

春

受粉／摘花／摘果／防除

寄付金の使い道

ポリネーションの実施 畠に蜂と巣箱を設置し、満遍なく受粉が行われるようにします。
樹木更新への支援 より高品質なりんごが収穫できる樹木へ更新する場合に助成します。



1年のりんごの成長が決まる 剪定

雪の季節、雪から大切な枝を守るための作業は欠かせません。そして、「剪定」は次のりんごづくりの第一歩で、陽が良くあたり、また根から吸い上げる養分が木全体に行き渡り良い実ができるように、必要なない枝を切り落とす作業です。剪定は今後のりんごの成長を左右するため、長い経験がないととても難しい作業です。

冬

越冬準備／雪害対策／剪定

寄付金の使い道

雪害対策支援 雪により枝・幹が折れてしまわないように補強する資材に対し助成します。
生産者大会の開催 研修会を開催し、情報交換と栽培技術の向上を図ります。

特集

りんご栽培とふるさと納税の関係性

朝日町の蜜たっぷりのりんごと、ふるさと納税の“蜜月な関係”

寄付金の使い道▶りんごとワインの里の産業・観光事業
産業経済

4月

5月

町
関
連
の
イ
ベ
ン
ト
情
報

6月

7月

町の出来事

4月19日(日) | 日本フリースタイル選手権大会
@町内栗木沢地区 カヌーランド

栗木沢地区にあるカヌーランド（通称：タンの瀬）で日本カヌー連盟が主催する「日本フリースタイル選手権大会」が開催されます。ワールドカップへの選考会も兼ねており、雪解け水による最上川の豊富な水量と競技に適した波ができるため、この会場が選ばれています。45秒の制限時間中に、難易度が高いダイナミックな技が次々と披露されます。



4月29日(水・祝) | 朝日町成人式 @町内宮宿地区 創遊館

朝日町は、成人される方が集まりやすいように、雪がなく大型連休に入るこの時期に開催されます。

5月上旬予定 | 高田山ブナの森探索会
@町内高田地区 高田山

町の木でもあり、最も身近なブナ林と里山の魅力を感じてもらおうと、高田地区が主催している「高田山ブナの森探索会」。毎年、町内外から数十名の方が参加し、その半分はリピーターの方です。澄んだ空気が楽しめる道中では、新緑のブナ林、カタクリの群生、朝日連峰の眺望などの見所があり、心身ともにリフレッシュできる人気のイベントです。



5月中旬予定 | 水本菜の花観写祭 @町内水本地区 菜の花畠

耕作放棄地の有効活用のため菜の花を栽培しており、黄色一色の菜の花畠を撮ろうと写真愛好家が多く訪れます。

6月5日(金)~7日(日) | 朝日町空気まつり @町内白倉地区 空気神社周辺

空気神社の地下本殿が一般公開されるほか、みこの舞が奉納されるなど、空気や自然の大切さを広く発信します。

6月14日(日) | 朝日連峰夏山開き
@朝日連峰鳥原山 朝日嶽神社

朝日町や県内の朝日連峰周辺自治体、山岳会、観光団体などが参加し、約4ヵ月間にわたる登山シーズンの安全を祈願します。また、朝日連峰は日頃から山岳会などが自然や登山道の保護・管理を行っており、登山者が安全で楽しく登山できるよう整備しています。原始的景観が残る朝日連峰を皆様も登ってみてはいかがでしょうか。



7月19日(日) | 大沼浮島 島まつり @町内大沼地区 大沼浮島稻荷神社

年に一度、湖畔から新たな島を切り出し、その島にその年の吉方位にある旧国名が由来の名前を付ける行事です。

ふるさとチョイス大感謝祭に初出展

11月16・17日、パシフィコ横浜で開催されたふるさとチョイス大感謝祭に朝日町が初めて出展しました。

2日間で約12,000人が来場した本イベントで、ふるさと納税寄付金の使い道の広報、町特産の無袋ふじや朝日町ワイン、りんごジュースの試食・試飲を行いました。ブースを訪れた方からは「無袋ふじが硬くて美味しい」、「以前、朝日連峰に登った」、「空気神社に興味がある」といった声が聞かれ、担当者がコミュニケーションを取らせていただきました。2020年も出展予定ですので、皆様もぜひご来場ください。



来場者過去最高 朝日町産業まつり

町内の産業が一堂に集まる「朝日町産業まつり」と「りんごまつり」が11月23・24日の両日、町民体育館周辺で開催されました。



会場では、町内の企業・商店による物販コーナーや友好の町として交流する宮城県七ヶ浜町の海産物コーナーなどが設けられるとともに、りんご品評会に出品された最高級のりんご69点も並びました。天候に恵まれたことに加え、町内産りんごや町のものづくりへのブランドイメージの高まりなどにより近年は来場者数が増加しており、今回は過去最高の来場者数（24,000人）となりました。



タイ「シリトーン王女」へ町内産りんご献上

昨年7月に日本大使館を通じてタイ王室へ山形県産さくらんぼ「紅秀峰」が贈られ好評だったため、再度県産果物を贈ることとなり、ジェトロ山形の紹介で、旬を迎えていた当町のりんごがタイ王女へ献上されることとなりました。献上品のりんごは、町内大谷地区で収穫された「ふじ」。生産者への取材では「今回のことをきっかけにタイの人々にもっと町のりんごを食べてもらえた嬉しさです。」と語ってくれました。町では平成18年度からタイへりんごを輸出しており、現地の高級百貨店や日系スーパーで販売されています。



朝日町非公式PRキャラクター 桃色ウサヒ10周年

ふるさと通信にもたびたび登場する桃色ウサヒは、本格始動から10周年目となりました。中の人が活動する佐藤恒平さんが大学院生の時に生み出したウサヒは、町民が気軽に扱え、町民の考えた面白いアイディアを表現できるようにあえて無個性で隙の多いキャラクターにデザインしています。ホームページやSNS、YouTube、ゆるキャラさみつと、国内外メディアの取材など様々な場面で町をPRしており、この住民のアイディアを取り入れた地域おこしの手法が評価され、平成28年に総務大臣表彰「ふるさとづくり大賞」を受賞しています。

ござてけらっしゃい
(おいでください)
あさひまち



9. 松本亭一農舎

まつもとていいのうしゃ

- 所在地 朝日町常盤ろ1
- アクセス 山形自動車道寒河江ICから車で約30分
- 問合せ 運営会社:まよひが企画 ☎0237-84-0880

朝日町は人口約6,700人の小さな町です。決して知名度が高い町ではなく、ふるさと納税を通して知っていた方も多いと思います。実際に「面白そうなところなので、どんな町なのか一度行ってみたい」という嬉しい声を多数いただいています。

本コーナーでは、皆さんに足を運んでほしい町のおすすめスポットを紹介しています。朝日町にお越しいただき、その魅力を実際に感じていただけたら幸いです。

主に町外から訪れるお客様が、町の暮らしや地域との交流を体験できる簡易宿泊施設として平成29年に「松本亭一農舎」がオープンしました。

当施設は明治時代に建てられ、長年「松本邸」として親しまれており、平成20年に町へご寄付いただきました。その後、町の外と中とを繋ぐ「架け橋」とするため、素泊まりができる宿として古民家の趣を残しつつ改装しました。和室4室（相部屋2室、個室2室）と、共用の台所、浴室等を備え、一泊一人あたり3,200円から利用できます。また、誰でも利用できるコミュニティースペースでは、気軽にお茶をしたり、誕生日会の開催、ボードゲーム対決、地域の子どもたちが宿題を教えてもらうなど、多種多様に活用されています。今後、朝日町にお出でいただく機会があれば、ぜひご利用いただき、地域の皆さんと交流されてみてはいかがでしょうか。

編集後記

今号の特集は、町特産のりんごを収穫するまでの作業について紹介しましたが、生産者の丁寧な栽培管理や歴史とともに培われてきた栽培技術については、まだまだ書ききれていません。ぜひ、今年の秋に当町のりんごを食べていただく際には、美味しいりんごを作るための生産者の心を感じながら味わっていただければ幸いです。

政策推進課広報ブランド係ふるさと納税チーム

- 発行者 〒990-1442山形県西村郡朝日町大字宮宿1115番地 朝日町長 鈴木浩幸 ☎0237-67-2111(代)
- ホームページ <https://www.town.asahi.yamagata.jp>
- メールアドレス furusato@town.asahi.yamagata.jp

朝日町のプロフィール

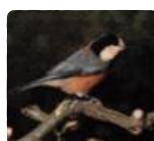
■人口と世帯(令和2年1月31日現在)

人口	世帯数
6,689人	2,393世帯



総面積…196.81km²
東西25km、南北21km

町の鳥



ヤマガラ

町の花



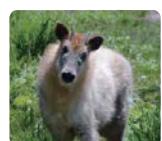
ヒメサユリ

町の木



ブナ

町の動物



カモシカ

桃色ウサギ



朝日町の非公式PRキャラクター。朝日町ふるさと応援大使も務める。「圧倒的無個性」が特徴で、町の情報を日々ユニークな視点で発信中。

